



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

SOHO を生かしたまちづくり(中心市街地活性化基本計画の推進)

関 幸子 (せき さちこ)

NPO法人 地域産業おこしに燃える人の会 理事長

○ 登録者情報

所在地

東京都千代田区

略歴

1980年 三鷹市役所 入庁
1999年 株式会社まちづくり三鷹 プロジェクト マネジャー(退職派遣)
2006年 三鷹市教育委員会 三鷹駅前図書館長
2007年 財団法人まちみらい千代田 専門相談員
2007年 秋葉原タウンマネジメント株式会社 専務取締役
2008年 NPO法人 地域産業おこしに燃える人の会 理事長
地域活性化伝道師、地域産業おこしに燃える人、地域中小企業サポーター

著書・論文等

「21世紀の地域産業振興戦略」(共著 新評論、2000年)
「インキュバータとSOHO」(著作編著 新評論 2005年)

○ SOHO を生かしたまちづくり(中心市街地活性化基本計画の推進)

取組の内容

1997年よりSOHO CITY みたか構想、中心市街地活性化事業に携わる。
1999年には株式会社まちづくり三鷹の設立に従事し、中心市街地活性化法に基づき、TMOのマネージャーとして、三鷹産業プラザの建設、三鷹電子商店街、三鷹子育てねっと、三鷹光ワークスなどのプロジェクトを立ち上げる。その間に、NPOシニアSOHO普及サロン・三鷹、NPO子育てコンビニの創設を支援する。千代田では、秋葉原タウンマネジメント株式会社を設立し、再開発(ハード)とその地域の運営(ソフト)を一体的に行なう、エリアマネジネット手法によるまちづくりを手がける。

実績

2002年～2005年まで、経済産業省の地域新生コンソーシアム事業にて、プロジェクトマネージャーとして、高解像度医療用顕微鏡開発に携わり、具体的な製品開発事業を推進。1999年には(株)まちづくり三鷹、2007年には秋葉原地域のタウンマネジメント(株) という二つの地域まちづくり会社を設立。

工夫した点や苦労した点

自治体が産業政策を行なうにあたり、支援を行なうという側面支援から、SOHO CITY みたか構想では、自治体自らが、会社を設立し、会社運営に乗り出すという、発想の転換による手法を活用した。そのことで、起業の難しさ、税制の厳しさ、そして様々な社会制度の不合理さを身をもって体験する事が出来た。それによって、官と民との中間領域＝双方のメリットを生かした、地域活性株式会社戦略を見つけ出せた。

ひとことPR

地域活性化には、トップと現場の双方に「人」が必要で、その両者が揃った地域がやはり成功事例や具体的な事業展開を可能としている。人材育成と具体的な事業の実践が重要である。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
○	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
○	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

NPO法人地域産業おこしに燃える人の会 <http://www.moeruhito.com>

連絡先

メールアドレス		その他	
---------	--	-----	--

戻る